

平成30年12月19日

公立大学法人秋田公立美術大学

公立大学法人秋田公立美術大学理事長予定者の選考について

公立大学法人秋田公立美術大学の現理事長の任期が平成31年3月31日をもって満了となることから、本法人の理事長選考会議において、次期理事長予定者の選考を行い、理事長候補者2人のうちから、霜鳥秋則氏を理事長予定者として選考し、平成30年12月19日付けで秋田市長へ理事長任命の申出を行いました。

なお、公立大学法人秋田公立美術大学理事長は、定款の規定により、秋田公立美術大学の学長となります。

1 理事長予定者

- (1) 氏 名 霜 鳥 秋 則（しもとりのあきのり）
- (2) 生年月日 昭和22年9月16日（71歳）
- (3) 最終学歴 北海道大学法学部 卒
- (4) 略 歴 昭和46年4月 文部省入省
昭和63年7月 同省学術国際局学術企画室長
平成5年4月 同省学術国際局研究助成課長
平成8年7月 文化庁文化部長
平成10年7月 長岡技術科学大学副学長
平成13年4月 小山工業高等専門学校校長
平成23年4月 帝京平成大学教授
平成27年4月 秋田公立美術大学理事長兼学長（現職）



2 選考方法など

(1) 選考の方法

理事長選考にあたっては、「人格が高潔で、学識が優れ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力、法人の経営管理能力を有する者」という視点に基づき、所信表明書、履歴書による書類審査に加え、所信表明および面接審査を行った上で最終選考を行った。

(2) 選考理由

霜鳥秋則氏は、理事長兼学長として、設立間もない秋田公立美術大学の舵取り役を担い、管理運営体制や教育内容の見直しと改善、学生のキャリア支援など、柔軟かつ適切な判断により、堅実な大学運営を実践してきた。

また、大学院の設置をはじめ、社会貢献活動充実のためのNPO法人立ち上げ、海外大学との交流協定締結を実現するとともに、県内外の学界、政財界等の幅広い人脈を構築し本学の認知度を高めるなど、多くの成果をもたらした。

今後、未来に向けた新たな挑戦を続け、地域に愛され、広く内外に存在感を示す大学を目指していく上で、引き続きリーダーシップを発揮していくことが期待されることから、理事長として適任と判断した。

3 次期理事長の任期

平成31年4月1日から平成35年3月31日まで（4年間）

4 任命

理事長の任命は、法人からの申出に基づき、秋田市長が行います。

（参考）

○ 理事長選考の経緯

平成30年9月25日	第1回理事長選考会議
10月18日	理事長候補者の選考について公示
10月19日	推薦、立候補の受付開始（11月19日まで）
11月30日	第2回理事長選考会議（書類審査）
12月17日	第3回理事長選考会議（所信表明、面接）
同日	第4回理事長選考会議（最終選考）

問い合わせ

公立大学法人秋田公立美術大学
事務局総務課

電 話 018-888-8100

F A X 018-888-8101